

耐震工学研究会（EeNiX）100 回記念シンポジウム

「耐震設計のこれから —震災に対するレジリエンス向上のために—」

耐震工学研究会は 1999 年から活動を開始し、今年で 100 回目となる研究会を開催する運びとなりました。これを記念し下記のようなシンポジウムを企画いたしました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

日 時：2018 年 12 月 10 日（月） 14:00～17:40

会 場：中央大学駿河台記念館 370 号室 (<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>)

参加費：1,000 円（会場でお支払い下さい）

主 旨：2011 年の東日本大震災では津波で甚大な被害が発生し、2016 年の熊本地震では新しい住宅でも倒壊するなどの被害も出ている。近い将来発生するとされる南海トラフ巨大地震ではこれまで以上の被害も想定されている。こうしたなか、わが国の構造設計、特に耐震設計はどうあるべきなのだろうか。震災による被害を抑制し、さらには震災からの回復力（レジリエンス）を高め、避難する必要のない住宅をつくっていくためには、建物の耐震性を高めることが求められる。わが国が抱えている耐震設計の課題、それを克服するためにはどうすべきなのか、そしてこれからの耐震設計のあり方について考えてみたい。

シンポジウム：

14:00～ 主催者あいさつ

14:10～ 基調講演

緑川光正（建築研究所 理事長）

テーマ：「地震災害の低減への歩みを振り返る」

北村春幸（東京理科大学 副学長・教授）

テーマ：「構造設計における 3 要素とその総合

—長周期地震動に対する免震構造の耐震性能評価を事例に—」

金箱温春（金箱構造設計事務所代表取締役／工学院大学特別専任教授）

テーマ：「成熟化社会における建築構造」

—休憩—

16:30～ パネルディスカッション

17:30～ 質疑応答・まとめ

—移動—

18:00～ 懇親会（会費 3,000 円は会場でお支払い下さい）

お問い合わせ・お申し込み先：

福岡大学工学部建築学科 高山研究室内

TEL：092-864-3658／FAX：092-864-3655／E-mail：eenix@eenix.gr.jp

参加を希望される方は、①お名前、②ご所属、③連絡先、④懇親会への参加の有無を明記し、FAX もしくは電子メールでお申し込みください。